

要 望 書

(国道 226 号の整備促進について)

令和 7 年 11 月

鹿児島県議会国道 226 号整備促進議員連盟

国道226号の整備促進について

国道226号の整備促進については、日頃から格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

国道226号は県都鹿児島市と指宿市を結び、さらに南九州市、枕崎市を経て南さつま市に至る幹線道路であります。平成26年の平川道路4車線開通や指宿岩本交差点の改良等により、鹿児島市喜入地区及び指宿市から鹿児島市中心部間の移動時間の短縮、当該交差点の慢性的な渋滞解消等の効果がみられており鹿児島市や南薩地域の浮揚発展に大きく貢献しているものと考えております。

しかしながら、将来を見据え、さらなる移動時間の短縮によって、ヒト・モノの流動性を高め、生産性の向上を図るために、今後ますますの整備促進が不可欠であります。

また、現在進捗中の事業箇所においては、交通量が多く、歩行者が危険な状況となっており、交通の円滑化と安全性の確保を図るため、事業の早期完成が必要であります。

さらに、指宿市から南さつま市に至る国道226号の県管理区間の改良率は、指宿市から枕崎市までの区間において100%となっておりますが、南さつま市において未改良の箇所が残っているところであります。

また、改良済み区間におきましても、歩道がなく住民の通行に危険が伴う箇所や路面の老朽化等がみられる箇所があり、安全性の確保と交通の円滑化を図るため、早急な対策が必要となっております。

国道226号は、南薩地域における観光や物流の主要な幹線ルートであり、また、地域住民の生活道路として地域産業の発展を支える必要不可欠な道路です。今まで、道路事業を通じて南薩地域の雇用・経済を下支えするという役割も果たしてきました。

今後は、激甚化・頻発化・広域化する災害による脅威に対応するため、平常時・災害時を問わず、安定的な人流・物流を支え、国土強靭化の推進を通じた地方創生に向けて、次の事項について特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

- 喜入防災の早期着工を図ること。
- 国道226号指宿市十二町交差点から鹿児島市平川道路起点までの当面の交通の円滑化と安全性の確保を図るため、線形改良や道路拡幅、交差点の改良、歩道の設置等の整備を図ること。
- 県都鹿児島市と県内屈指の観光地指宿市を結ぶネットワークの安定性・効率性の更なる向上を図り、人流・物流の生産性を向上させるため、国道226号鹿児島市喜入旧市交差点から同市平川道路起点間の4車線化に向けた調査検討を進めること。
- 県管理に係る国道226号の交通の円滑化と安全性の確保を図るため、未改良区間の早期整備、歩道の設置、路面の老朽化対策等に必要な支援を図ること。
- 地域の安全・安心のため、国土強靭化対策が必要であり、令和7年6月に閣議決定された「第1次国土強靭化実施中期計画」にもとづき、強靭なネットワーク整備の更なる加速化・深化や今後増大する老朽化対策費用等の抜本的な対策を含めた道路整備に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること。

- 第1次国土強靭化実施中期計画を着実に進めるため、今後の資材価格・人件費高騰等の影響については予算編成過程で適切に反映するととともに、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保して、継続的に取り組むこと。
- 山積する道路整備の課題に対応しながら、必要な道路整備・管理が計画的かつ長期安定的に進められるよう、また、我が国の生産性向上の観点からも、新たな財源の創設等により、令和8年度道路関係予算は、資材価格及び賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保すること。
また、国土強靭化のみならず、我が国の成長力及び国際競争力の強化、さらには生産性向上の観点からも、公共事業を含む令和7年度補正予算を速やかに編成すること。
- 時限措置となっている防災・減災関連地方債の緊急防災・減災事業債等については、期間満了後も継続するとともに、安定的な制度運用を図るため、恒久的な制度にすること。
- 大規模自然災害に即応するための地方整備局等の体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと。

令和7年11月

鹿児島県議会国道226号整備促進議員連盟

会長 寺田 洋一

鹿児島県議会国道226号整備促進議員連盟会員

鹿児島市・郡区	柳 誠子	ふくし山ノブスケ
	おさだ 康秀	上 山 貞茂
	宝 来 良治	いわしげ 仁子
	柴 立 鉄平	村 野 俊作
枕崎市 区	西 村 協	
指宿市 区	小 園 しげよし	
南さつま市 区	園 田 豊	
南九州市 区	田 畑 浩一郎	
日置市 区	元 山 ひさや	
鹿屋市・垂水市区	角 野 豪	
出水市 区	伊 藤 浩 樹	
西之表市・熊毛郡区	松 里 保 廣	日 高 滋
薩摩川内市区	外 菌 勝 藏	鶴 菌 真佐彦
	内 田 一 樹	
霧島市・姶良郡区	山 田 国 治	平 原 志 保
奄美市 区	永 井 章 義	
肝属郡 区	鶴 田 志 郎	
大島郡 区	禧 久 伸一郎	寿 はじめ